

2026 年 10 月 20 日

3 カ国語リアルタイム対話 AI システム業務委託仕様要件書

株式会社唯

■ 目的・ご依頼内容

本プロジェクトは、「外国語に不慣れな現場の解説者（発信者）と、海外から訪れる多言語利用者との言葉の壁を解消する」Web システムの開発です。

一般的な自動翻訳ツールのような無機質な直訳ではなく、「弊社が保有する未公開の専門ナレッジ・ドキュメントデータベース」を AI に読み込ませる（RAG：検索拡張生成）ことで、専門性の高い文脈やニュアンスが正確に伝わる「高度な文脈最適化翻訳（ナレッジ意識）」をリアルタイムで利用者のスマートフォンへ届けます。低コストで核心機能（RAG＋多言語文脈意識の精度）を検証するため、開発範囲を「解説者の解説・講話の一方方向リアルタイム翻訳配信」に特化した最少構成（MVP）として構築します。対訳は 3 カ国語：英語・中国語・韓国語になります。

■ 弊社（発注者）からの提供物

開発にあたり、弊社（株式会社唯）より以下の資材・環境を提供いたします。

- 解説音声 MP3 データおよびテキストデータ（文字起こし）
 - * 検証・テスト用の音声ファイルおよび対応するテキストデータ
- 弊社独自の専門ドキュメントデータベース（RAG 構築用ナレッジ）
 - * 未公開の解説テキスト、ドメイン固有の専門用語集・背景ナレッジデータ（テキスト/PDF 等）
- 対訳辞書・キーワードデータ（3 カ国語：英語・中国語・韓国語）
 - * 固有の表現や専門用語に対応する 3 言語の対訳キーワードリスト。
- 開発・稼働に必要なインフラ環境および実費
 - * 現場 Wi-Fi/通信環境、スマートフォン・マイク機器。
 - * クラウド利用料、AI サービス API 利用料（OpenAI, Gemini 等）の実費負担。

■ 業務範囲（Phase 1 開発モジュール）

フロントエンド（利用者用受聴 Web 画面）からバックエンド（音声 STT・RAG 構築・多言語意識）までを一貫して構築する構成です。

No	工程・モジュール名	作業内容・概要
1	要件定義・全体設計	システム構成定義、一方向配信ストリーミングフロー設計、API 連携設計
2	音声認識（STT）連携&区切り前処理	音声（マイク/MP3）のリアルタイムテキスト化、言い淀みの除去や文脈に応じたセンテンス区切り処理
3	ナレッジ DB 活用 RAG / ベクトル DB 構築	弊社専門データベースの構造化、検索拡張生成（RAG）用ベクトル DB 構築とコンテキスト抽出ロジック

4	多言語文脈翻訳プロンプト・TTS 開発	3 言語（英・中・韓）対応の高度文脈翻訳プロンプト設計、音声合成（TTS）での受聴機能開発
5	利用者用 受聴 Web UI 開発（言語選択付）	利用者スマホ用画面（英語・中国語・韓国語の切り替え選択、リアルタイムテキスト表示&音声再生）
6	結合テスト・検証調整作業	音声の区切り検知調整、実際の法話音声を通したフィードバック反映、プロンプト精度チューニング

■ ご提示いただくお見積もりについて

・弊社希望見積額（目安）：30 万円程度（税抜・システム利用費別）

・見積書作成のお願い：

- ・今回はコア機能（法話の一方向リアルタイム意識配信）に絞り込んだ最少構成（MVP）です。
- ・上記の金額は弊社による算出目安です。「解説者の一方向リアルタイム翻訳配信」のコア MVP 検証に特化しており、既存の各種 AI API・SaaS 連携を活用した想定稼働工数（約 5 人日）より試算しております。
- ・各モジュール（No.1～6）における貴社のアプローチや実装手法に応じたモジュール別見積額・工数（人日数）の内訳をご提示ください。具体的な技術構成やご提案に応じた金額調整につきましては、柔軟に協議させていただきます。

■ 開発対象外・前提条件（スコープの明確化）

* Phase 1 対象外機能（Phase 2 以降へ移行）：

・利用者からの音声質問・双方向 Q&A 機能（利用者マイク入力、解説者画面への反転日本語翻訳表示）

・監修者用管理画面・バックトランスレーション比較画面（ログデータ/DB 直接確認で対応）

* タイムラグの許容：数秒程度の応答遅延は許容し、処理速度よりも意識の自然さ・正確さを優先します。

* データ整形・翻訳作成の除外：テキスト化や対訳データの作成自体は弊社で行うため、エンジニア側での文章作成作業は発生しません。

* クラウド・AI API 実費の扱いとモデル選定の柔軟性：

・API 利用料やサーバー費用は弊社口座より直接支払うため、開発見積額には含めません。

・使用する AI モデル（OpenAI, Gemini 等）や利用環境につきましては、特定の過剰スペックに固定せず、開発・検証段階において精度とランニングコストのバランス（費用対効果）を考慮の上、弊社と貴社で協議・合意して選定・調整するものとします。

■ 発注・契約に関する重要合意事項

1. 仕様確定による金額変動の合意：

本見積もり・要件定義は初期提案に基づくものであり、開発着手後の詳細仕様の確定や検証結果による調整に伴い、金額および工数が増減する可能性があることを相互に合意した上での発注となります。

2. 成果物の権利帰属：

・納品時には「ソースコード一式」「簡易 API/システム構成メモ」「環境構築・デプロイ手順書」を提

出いただくこと。

- ・納品成果物の著作権は、対価の支払いが完了した時点で株式会社唯へ完全に移転すること。

3. 拡張性の確保:

- ・将来的な対応言語の追加や Phase 2（双方向 Q&A 機能）への拡張がスムーズに行えるよう、特定の独自環境に依存しすぎないシンプルなモジュール設計とすること。

以上